

井笠広域一般廃棄物埋立処分場の漏水事故について

井笠広域一般廃棄物埋立処分場の浸出水が配管の不具合により漏れて、約1000リットル未満が場内に流出しました。

当組合が運営している井笠広域一般廃棄物埋立処分場は管内に2つある井原地区清掃組合井原クリーンセンターと岡山県西部環境整備施設組合里庄清掃工場の焼却灰及び井笠広域資源化センターの不燃物残渣を埋立処理するために井原市の高屋町に設置した令和4年4月から稼働している露天がたの管理型埋立処分場です。埋立処分場に降った雨が焼却灰と接触しながら、浸透し、集水され浸出水となり、その浸出水を水処理施設で浄化し、河川放流をしています。この度は処分場と水処理施設をつなぐ配管から浸出水の漏水が確認されました。量は約1000リットル未満と推定しています。

事象を確認したのは、1月11日の14時です。

水の漏れは10日の午前7時ごろから見られていました。遮断バルブという大元のバルブが閉じているのに浸出水の流入があったことから調査したところ、浸出水バルブピットの配管と躯体の隙間から流入水が確認できました。雨水の可能性もあったことから、水質を簡易法で検査したところ、①pHが高い②塩素イオン濃度が高い③カルシウム濃度が高い、ことから浸出水漏水の可能性が疑われました。

今回の配管は埋設されているものでしたので、プラントメーカーにより試掘をし、状況を確認したところ、管自体はポリスリーブというビニールシートで巻かれていたことから、浸出水の外部への漏れはありませんでした。しかしさらに状況確認のため試掘する中でポリスリーブを破損させたため、浸出水の一部が場内ではありますが、施設外に流出いたしました。

すぐに対応をしていますので、流出水は約1000リットル未満に抑えられたと思われまます。現在は漏水分を処理施設に送れるように手当をしましたので施設外へは漏れていません。

今後はいち早い漏水の止水と恒久的復旧を進めると同時に周辺水環境への影響を監視することで地元の方の不安払拭に努めてまいります。

岡山県備中県民局担当課、組合市町環境担当課とも連携を密にしながら、応急の対応を進めています。このことによる焼却灰等の埋立て作業の一時的な中止はございません。

地元住民の皆様には大変ご迷惑とご心配をおかけしています。この度は申し訳ありませんでした。プラントメーカーとともに早急な復旧に努めてまいります。

以上。